

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社ぐるなび 上場取引所 東
コード番号 2440 URL <https://corporate.gnavi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉原 章郎
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 山田 晃久 (TEL) 03-6744-6463
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,488	6.8	607	—	603	555.2	692	—
2024年3月期第3四半期	8,886	△0.8	22	—	92	—	△148	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 596百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 △112百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	10.83	10.82
2024年3月期第3四半期	△4.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	11,757	6,734	57.1	96.35
2024年3月期	11,411	6,137	53.6	85.17

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 6,715百万円 2024年3月期 6,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,250	9.8	240	—	180	—	200	—	1.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	56,903,800株	2024年3月期	56,903,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	501,462株	2024年3月期	421,962株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	56,441,774株	2024年3月期3Q	55,856,332株

(注) 2024年3月期の期末自己株式数は、他人名義所有株式9,000株を含んでおります。
2025年3月期3Qの期末自己株式数は、他人名義所有株式9,000株を含んでおります。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	45.00	45.00
2025年3月期	—	—	—		
2025年3月期(予想)				—	—

(注) 当社は、2025年2月7日開催の取締役会決議に基づき、2025年2月25日にA種優先株式の全部を取得及び消却する予定のため、2025年3月期の配当はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。当社サービスの対象である外食産業においては、消費者の外食支出やインバウンド需要が増加基調にありましたが、原材料価格の上昇や人材不足等、経営環境には厳しさを先行き不透明感もみられます。

当社は、中期事業方針（2024年3月期から2026年3月期）の2年目である当期において、黒字化を果たすことはもとより、次期での利益拡大フェーズへの転換を確実なものとする、長期視点にたった新たな価値創造のための積極的な事業展開を支える安定収益源を拡大することが重要との考えのもと、「楽天ぐるなびの強化」、「マーケティングエージェントの本格化」、「商品造成力の向上」を注力施策と位置づけ、中核事業である飲食店支援事業の成長力引き上げに臨んでおります。当第3四半期連結累計期間における主な取り組みは以下のとおりです。

まず、「楽天ぐるなびの強化」においては、ユーザー基盤である楽天ID連携会員によるリピート予約を促進するとともに多くの飲食店が求める宴会需要を喚起すべく、「幹事ガンバレプロジェクト」を始動し、その一環として、楽天会員向けロイヤリティプログラム「幹事ランク制度」を11月に本格スタートいたしました。具体的には、過去3か月間のネット予約による累計来店人数に応じてランクを判定し、判定後に対象となるコース料理をネット予約し来店した際、ランクに応じて最大でコース金額の7%分の「楽天ポイント」が進呈される仕組みです。繰り返し利用するほど、大人数で集まるほど、よりお得に外食を楽しむことが出来る本制度を通じて、当社サイトの送客力の向上はもとより、“幹事に選ばれる・大人数の獲得に強いサイト”という個性を磨き上げ、加盟店舗数の拡大、ひいては宴会文化の振興につながってまいります。

次に、飲食店が取り組むWeb集客活動を一括支援することで、飲食店の業務負荷を軽減すると同時に売上拡大を実現する「マーケティングエージェント」領域においては、前期より順調に利用店が拡大している Google ビジネスプロフィールの運用支援サービスについて、さらなる獲得強化に向けたサービス品質及び運用効率の向上を軸とする商品リニューアルを実施するとともに、新たな支援プランを開始いたしました。その他、飲食店のインバウンド需要の取り込み支援として提供する海外メディア等への広告配信サポート商品において、これまで英語、中国語（繁体字）を対象言語としたバナー広告のみでの運用であったところ、訪日外国人観光客数の多い韓国を対象言語に追加すると同時に、海外のインターネットユーザーが日常的に利用するSNSでの配信や Google でのリスティング広告を追加する等、サポート力の向上に取り組みました。

加えて、上述の2つの取り組みの推進力や実効性を高めるべく、飲食店・消費者双方のニーズに即した有用な新商品を的確に企画、開発、提供するスピーディーな「創って、作って、売る。」を可能とする体制への変更を4月に実施し、「商品造成力の向上」を図っております。

この他、飲食店での注文・決済を来店客自身のスマートフォンで行うことが出来るモバイルオーダーサービス「ぐるなびFineOrder」において、大手チェーン領域におけるさらなる提案拡大を目的に、業態を問わず多くの外食企業が導入するクオリカ株式会社のPOSシステムとの連携を開始いたしました。なお、2024年12月末時点での契約企業数は122社（前年同月末は77社）となり、また契約企業における導入店拡大を順次進めると同時に当社の強みである人的サポート体制による運用・活用支援に取り組むことで、システム導入済み店舗の97%（2024年12月実績）で「ぐるなびFineOrder」はアクティブに利用されております。

さらに、新たな取り組みとして、生成AI技術の積極活用による当社サービスの価値向上及び社内業務の生産性向上双方の実現を目指した「ぐるなびNextプロジェクト」を8月に本格始動いたしました。当第3四半期においては、あらゆる外食ニーズにパーソナライズした店舗提案を目指した次世代食体験アプリ「UMAME!（うまみー!）」の開発を推進し、2025年1月よりβ版のテスト運用を開始いたしました。「ぐるなびNextプロジェクト」では、本アプリの改善・改良を通じて蓄積する開発技術やデータを、消費者向けサービスの強化に留まらず飲食店をはじめとする食関連事業者向け経営支援サービスに応用・発展する等、生成AI活用による外食産業の活性化をリードしてまいります。

加えて、日本の食文化を守り育てる取り組みとして、日本料理界の未来を担う若手料理人の発掘・支援を目的とした料理人コンペティション「RED U-35」を11月に開催したほか、優れた日本の食文化を保護・継承することを目的とした「2024年 今年の一皿」の選定・発表を12月に行いました。

以上の活動等の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,488百万円（前年同期比6.8%増）となりました。事業区分別の売上高は、下表のとおりです。

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	対前年 同四半期 増減率 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
基盤事業	飲食店販促サービス			
	ストック型サービス	6,222,290	6,765,404	+8.7
	スポット型サービス	849,963	1,018,462	+19.8
	小計	7,072,254	7,783,867	+10.1
	プロモーション	1,074,116	760,032	△29.2
	小計	8,146,370	8,543,899	+4.9
	関連事業	740,080	944,909	+27.7
	合計	8,886,451	9,488,808	+6.8

当社売上の中核である飲食店販促サービスは、ストック型サービスの着実な積み上がりに加えて、短期間での販促商品等の利用及びネット予約手数料売上双方の拡大によりスポット型サービスが増加したことから、前年同期を10.1%上回りました。

他方、プロモーションが前年同期を下回りましたが、当期計画に対しては想定どおりの進捗であります。

関連事業については、厨房機器販売店「テンポスぐるなび」の売上を計上したことを主因に、前年同期を上回りました。

費用については、貸倒引当金が前期に発生した戻入れの影響解消により増加したほか、2023年3月末に実施した減損処理により前期において低減されていた減価償却費が増加、「楽天ぐるなび」サイトの強化に係る広告宣伝・販促費が増加しましたが、前述のプロモーション売上の減少を主因に売上原価が減少したこと、全社的なコストコントロールを徹底したこと等から、前年同期比微増に留まりました。

以上の結果、営業利益は607百万円（前年同期は22百万円）、経常利益は603百万円（前年同期は92百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は692百万円（前年同期は148百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が受取手形及び売掛金の減少を主因に前連結会計年度末より509百万円減少した一方、固定資産がソフトウェアや建物を中心に同855百万円増加したことから、同346百万円増加し11,757百万円となりました。

負債は、未払金の減少を主因に前連結会計年度末より250百万円減少し5,023百万円となりました。

純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上692百万円により、前連結会計年度末より596百万円増加し6,734百万円となりました。

(単位：百万円)	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
総資産	11,411	11,757	+346
負債	5,273	5,023	△250
純資産	6,137	6,734	+596
自己資本比率 (%)	53.6	57.1	+3.5

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の各利益は、全社的な業務効率化及び効果や効率性に留意したコスト投下を徹底したこと等を背景に、通期利益予想を上回って着地いたしました。

他方、第4四半期において、採用活動の強化に伴う人材募集費の拡大のほか、一過性のコスト増を見込んでいたこと等を踏まえ、2024年11月21日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

今後、業績予想を修正すべき場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,368,002	4,760,076
受取手形及び売掛金	2,968,454	2,353,669
仕掛品	2,289	311,650
未収入金	890,254	1,143,944
その他	438,564	559,056
貸倒引当金	△76,123	△46,148
流動資産合計	9,591,442	9,082,249
固定資産		
有形固定資産	154,958	538,676
無形固定資産	531,200	1,139,655
投資その他の資産	1,133,561	997,335
固定資産合計	1,819,720	2,675,666
資産合計	11,411,162	11,757,915
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	117,360	161,011
未払法人税等	2,521	10,061
賞与引当金	390,646	131,272
ポイント引当金	27,246	15,769
受注損失引当金	60,486	58,007
事業構造改善引当金	-	52,816
未払金	1,841,597	1,302,634
預り金	103,955	113,135
その他	224,548	674,929
流動負債合計	2,768,362	2,519,638
固定負債		
長期借入金	2,200,000	2,200,000
資産除去債務	180,381	221,251
その他	124,861	82,481
固定負債合計	2,505,242	2,503,732
負債合計	5,273,605	5,023,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	6,846,537	6,846,537
利益剰余金	19,143	711,898
自己株式	△1,088,584	△1,088,584
株主資本合計	5,877,096	6,569,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,191	76,720
為替換算調整勘定	61,499	69,202
その他の包括利益累計額合計	241,690	145,922
新株予約権	18,770	18,770
純資産合計	6,137,557	6,734,544
負債純資産合計	11,411,162	11,757,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	8,886,451	9,488,808
売上原価	3,224,918	3,158,686
売上総利益	5,661,533	6,330,122
販売費及び一般管理費	5,639,362	5,722,978
営業利益	22,170	607,143
営業外収益		
補助金収入	80,000	-
受取配当金	3,000	5,000
違約金収入	-	11,553
その他	11,973	28,864
営業外収益合計	94,973	45,417
営業外費用		
支払利息	16,913	17,046
コミットメントフィー	5,928	6,542
株式報酬費用	-	23,470
その他	2,266	2,449
営業外費用合計	25,108	49,508
経常利益	92,035	603,052
特別利益		
投資有価証券売却益	-	157,399
新株予約権戻入益	6,973	-
その他	-	6,494
特別利益合計	6,973	163,893
特別損失		
投資有価証券評価損	223,075	896
事業構造改善費用	-	52,816
その他	8,213	-
特別損失合計	231,288	53,712
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△132,280	713,232
法人税等	15,825	20,478
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148,105	692,754
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△148,105	692,754

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148,105	692,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,397	△103,470
為替換算調整勘定	19,783	7,702
その他の包括利益合計	35,181	△95,767
四半期包括利益	△112,924	596,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112,924	596,987

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結会社において当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、飲食店販促支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、飲食店販促支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	34,001千円	167,761千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
飲食店販促サービス (ストック型サービス)	6,222,290	6,765,404
飲食店販促サービス (スポット型サービス)	849,963	1,018,462
プロモーション	1,074,116	760,032
関連事業	740,080	944,909
顧客との契約から生じる収益	8,886,451	9,488,808
外部顧客への売上高	8,886,451	9,488,808

(重要な後発事象)

(優先株式の取得及び消却)

当社は、2025年2月7日開催の取締役会において、当社が発行するA種優先株式の全部につき、当社定款第10条の6の規定に基づく取得、及び当該取得を条件として会社法第178条の規定に基づく消却を行うことを決議し、2025年2月25日付で取得及び消却の実施を予定しております。

(1) 取得の内容

① 取得する株式の種類	A種優先株式
② 取得する株式の総数	2,400,000株
③ 株式の取得価額	1株につき540.808円
④ 株式の取得価額の総額	1,297,939,200円
⑤ 取得日	2025年2月25日

(2) 消却の内容

① 消却する株式の種類	A種優先株式
② 消却する株式の総数	2,400,000株
③ 消却日	2025年2月25日